

第4回 蕨市新庁舎建設基本構想・基本計画審議会 会議概要

■日 時 平成30年8月8日（水） 午後1:15～3:15

■場 所 市役所4階 第1委員会室

■出席者 （敬称略）

委 員：齊藤正人（会長）、山際幸平（副会長）、保谷武、鈴木智、大石幸一、石川里保、牛窪啓詞、岡本和子、藤井康榮、大貫芳枝、大矢初美、松本和敏
事 務 局：川崎文也（理事）、佐藤慎也（総務部長）、高橋稔明（都市整備部長）、根津賢治（総務部次長兼庁舎建設室長）、菊地雅治（庁舎建設室係長待遇）、伊東安治（庁舎建設室係長待遇）、金子真司（庁舎建設室技術主査）、森本悠理（庁舎建設室主事）、井上久誉、中塚圭郁（株式会社大建設計）

■次 第

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 前回の議事概要について（確認）
4. 議題
 - （1）新庁舎建設基本構想・基本計画 第1～3章（素案）
 - （2）新庁舎の基本的な考え方（基本理念）
 - （3）「基本方針」と「新庁舎に求められる役割と機能」
 - （4）駐車場・駐輪場の規模
 - （5）その他
5. 閉会

■内 容

【開会】

事務局から、開会のあいさつを行った。

【会長あいさつ】

会長からあいさつを行った。

【前回の議事概要について（確認）】

事 務 局： 前回の議事概要について修正点がないか確認したい。修正がなければ、これをもって議事概要を確定し、市役所の1階市民活動推進室閲覧コーナーと市ホームページで公開する。

【議題】

(1) 新庁舎建設基本構想・基本計画 第1～3章(素案)

事務局から、会議資料について説明を行った。

会 長： 今の説明に対して、質問又は意見はあるか。記載内容については、委員の皆様は既に知っているため、どのようにまとめるかが大切である。特に意見がないようであれば、議題の1つ目は委員の皆様へ承認いただいたものとして、2つ目の議題に移りたい。

(2) 新庁舎の基本的な考え方(基本理念)

事務局から、会議資料について説明を行った。

会 長： 今の説明に対して、質問又は意見はあるか。

委 員： 1行目の過去と未来を対比させる表現はとてもよいと思う。2行目の「みんなに」と「コンパクトな」という表現は、市長マニフェストと似ているが、本来この審議会は市長の諮問機関として、独立性を確保すべきであるため、この2つの表現をセットで用いることには反対する。

委 員： 1行目の「歴史・文化を活かし未来の蕨を創造」はよいと思うが、「歴史・文化を活かして、未来の蕨を創造する」、「歴史・文化が生きる未来の蕨を創造する」と2つの読み方があることについてはもう少し考えたい。

なお、「みんな」と「コンパクト」という言葉は極めて一般的な言葉のため、気にしなくてよいのではないか。「コンパクト」は「機能的」よりも、蕨に合う具体的なイメージを与えられるため、「人と環境にやさしく、市民に親しまれ安全でコンパクトな庁舎」がよいと思う。

委 員： 言葉やキャッチフレーズの要約は非常に難しいが、「人と環境にやさしく」の次に「市民」という言葉が入ると、「人」と「市民」の意味が重なるように感じる。「人と環境にやさしく、親しまれ安全でコンパクトな庁舎」はどうか。現実的には、蕨は敷地が狭いため、コンパクトな庁舎にしたうえで、機能性を盛り込む必要があると感じる。

事 務 局： 本日欠席の委員から基本理念案について直接伺った意見を紹介したい。

「一人一人の考え方が違うのは分かるが、蕨らしさや歴史・文化まで言い尽くそうとすると焦点がぼやける。理念にない言葉であっても、機能に盛り込むことはできるのではないか。また、コンパクトには「小型で中身が充実している」、「無駄を省いて小さくしている」という意味もあるので、表現として問題ないと思う。」

以上である。

- 委員： 文字だけを見ると、「安全でコンパクト」という表現より「安全で機能的」の方がよいと感じる。コンパクトが入るなら、「安全で機能的なコンパクトシティ庁舎」みたいに合わせてもよいのではないかと。
- 会長： 文言は相当練られてきたような気がするが、他に意見はあるか。皆さんの意見を出し尽くしたうえで決めていきたい。代替案は難しいと思うが、こういう雰囲気の方がよいという意見でもよい。
- 委員： 二者択一なら「人と環境に」のほうがすんなりくる。「コンパクト」という表現は、蕨はコンパクトな市なので違和感はないが、工夫するならコンパクトシティ蕨に似合う庁舎という意味で、括弧などで囲むのもよいと思う。注釈を入れてもよいが、キャッチフレーズとしては不自然になるかもしれない。
- 会長： この後続く基本方針に色々細かい説明が出てくると思うので、注釈等をつけるより、キャッチフレーズのままとしておくのがよいと思う。
- 委員： 基本理念は、目指すべき庁舎を想定させるための文言か。
- 会長： そのとおりである。細かい部分や基本方針は以降に続くため、一番上の基本理念は、目指す庁舎を示すキャッチフレーズとしての意味がある。
- 委員： 基本理念は、以後の基本方針の大前提であるが、基本理念の言葉がそのまま反映されるとは限らない。また、計画時点では色々な所に掲げられると思うが、完成すると誰も覚えてない可能性がある。
- カタカナ言葉を使うとインパクトがあるのは分かるが、行政文書で使うことには疑問がある。「コンパクト」の定義を見ると、「小型の」という意味に続いて「ぎっしり詰まった」という意味が出てくるので誤解する方がいるかもしれない。
- そのため、言葉の選択を細かく議論するよりも、皆の意見の象徴となる言葉を凝縮した、「蕨らしい機能的な庁舎」のようなシンプルな日本語のローガンを掲げた方がよいと感じる。
- 会長： 他市の基本理念には、基本方針のように複数行で記載する例もあるため、この程度ならシンプルな方と感じている。更に集約する場合は、表現の取捨選択が難しくなるので、現状の範囲で上手く盛りこみたいと思う。
- 委員： 「みんな」を「市民」に変えて、「市民にやさしく、市民に親しまれ」としてはどうか。「市民」が重なるが、現状よりよいと思う。「コンパクトな」と「機能的な」についてはどちらでもよい。
- 会長： いただいた意見に対する意見もあると思うが、最終的に全体の総意としてまとめていきたい。最初の「歴史・文化を活かし」については、来年度の設計時に負担になりにくい文言がよいと思う。意見にあったように、「歴史・文化」を建物の限られたスペースに入れていくことなのか、それとも旧中山道沿いの資源と調和させることなのか、様々な解釈ができる。現状の表現で

あれば、歴史・文化の活かし方に調整が利くうえ、審議会として大事なフレーズという共通認識もあるため、今のままでよいと思うがどうか。

委員： 蕨らしさに関して、桶川市は中山道宿場町であり、市庁舎の前面を2層にして街並みに揃えたデザインを採用していた。蕨市庁舎は中山道沿いにあるため、設計時に考慮されるような表現は入れるべきである。そうすることにより、エントランスの位置や向きなどを自然に意識すると思う。

会長： 大変貴重な意見である。それでは、特に異論がないようなので、「歴史・文化を活かし」に決定したい。2行目はメインの部分であるため、色々と意見があると思うが、先ほどの意見に関して、「コンパクト」は一般的な言葉であることは間違いないが、他に何か意見があれば伺いたい。

委員： 市長などの挨拶に必ず出てくるのが、「歴史・文化」や「コンパクト」という言葉である。蕨を象徴していると思うが、先ほどの発言にあるとおり、1つだけ外来語を使うのも疑問である。また、前半の「人と環境にやさしく、市民に親しまれ、安全で」はどこの庁舎にも当てはまるコンセプトであるため、まとめ方が大切となる。他の市庁舎にはない、歴史・文化をイメージさせるデザインが一部にあっても面白いと思う。

会長： 「コンパクト」については、皆さんあまり否定的ではないようである。今の発言にあるように前半はよくある表現のため、「コンパクト」を入れることで蕨らしさが出ると思う。市民も、共通のキーワードとして「コンパクト」という言葉を普段から目にしているので、誤解の心配はあまりないのではないか。特に異議がないなら、「コンパクト」を採用したい。

前半については、「人」と「市民」の重複についての意見などがあつたが、全体のバランスをみての対案がないようであれば、「人と環境に」がよいという意見が多かったので、採用したいと考えるがどうか。

会長： それでは、蕨市新庁舎の基本理念は『 — 歴史・文化を活かし「未来の蕨」を創造 — 人と環境にやさしく、市民に親しまれ、安全でコンパクトな庁舎』で承認されたものとなる。

続いて、議題3「基本方針と新庁舎に求められる役割と機能」に入りたい。

(3) 「基本方針」と「新庁舎に求められる役割と機能」

事務局から、会議資料に沿って、基本方針1. 防災拠点となる安全な庁舎について説明を行った。

会長： 質問、意見があれば発言いただきたい。

委員： 視察した吉川市庁舎は耐震構造だったと思う。免震構造は、機能としては安心だが、それなりの費用を要すると認識している。どのような観点から建

物の構造を検討するのか、大まかな方向性を教えてほしい。

事務局： 最近の庁舎で採用される構造としては、免震構造が主流であり、制振構造の事例は少ない。免震構造か耐震構造かという議論は色々な庁舎で行われている。大きくはコストの問題があり、耐震構造より免震構造はコストが上がる。一方で、耐震構造は、建物は壊れないが揺れるため、大地震の際に重要な設備機器が飛んで落ちる可能性があり、免震構造の方が安全面で優位性がある。建物自体はどちらも壊れないため、設計を進めるに当たってコストを算出するとともに、BCP（事業継続計画）などを総合的に考慮して採否を決める必要があると思う。

会長： 昨年度の審議会でも BCP に関係する話が出ている。熊本地震でも震度 7 の地震を 2 回受けたが、前震、本震、余震と地震が続く場合に最適な構造は免震である。非構造部材や機器類が極端に移動や転倒しないため、何度地震が発生しても常に業務を遂行することができる。

委員： コストが一番高いのは免震構造か。また、ゴムの耐用年数はどれくらいか。

事務局： コスト的には、免震構造が一番高く、次いで、制振構造、耐震構造となる。耐震構造は、構造体の一部を頑丈な柱や梁にするため、普通の建物よりコストは高い。免震のゴムについては、昔は 30～40 年で交換の必要があったようだが、最近では性能が大分改善され、建物が建っている間は持つといわれている。万が一破損した場合でも交換することが可能である。

委員： 理想は免震構造だと思うが、振幅が大きい熊本クラスの地震を想定して 2m 以上、建物の周りを余掘りする必要があるのではないか。条件的に困難であるなら、制振構造と耐震構造の採用も考えられる。熊本は想定外の揺れ方と波の大きさだったので、全てを参考にするのは違うと思うが、地震工学の専門である会長の話も伺いたい。

会長： 蕨市で想定される地震動については、高崎から川口までいくつかの断層に分かれている。断層全体で地震が起きるとマグニチュード 8 クラス、断層の一部で地震が起きてもマグニチュード 7 クラスと言われている。断層がどう連動してどのくらいの地震が起きるかは全く想定できない。ただし、どの構造を採用しても、今の設計基準で行うため、ひどい被害にはならないと思う。

市役所は余震等が続く中で、防災拠点として継続して業務を遂行することを考えれば、できるだけ地震の影響の少ない免震構造が一番安定して、遂行できると考える。

事務局： 振幅が大きい地震を想定して周りを大きく掘る必要があるのかという疑問があったが、設計時には、想定する地震波と建物の応答をシミュレートし、ダンパーの配置や、ゴムの中に鉛を入れることにより、地面側の振幅を 40cm 程度に抑えることができる。よって、周囲を 2m も余分に掘ることはなく、

実際は 60 cm程度に抑えて設計することになると思う。

委員： 建物全体の階数や建物の重さでゴムのコストは異なるのか。

事務局： 階数や荷重によりゴム 1 個当たりのコストは、あまり変わらないと思う。

委員： 建物の構造で違いはあるか。

事務局： 軽いほうがゴムとしては楽であるが、ゴムの上の建物が柔らかいと、勝手に揺れ始める特性があるため、建物自体に色々と補強を行う必要がある。

会長： 非常に専門的な話になったが、他に意見はあるか。ないようであれば、基本方針 2 を説明いただきたい。

事務局から、会議資料に沿って、基本方針 2. だれもが利用しやすい庁舎について説明を行った。

会長： 質問、意見があれば発言いただきたい。

委員： 「5.窓口・市民相談機能」の模式図について、下から 3 つ目までは行政、一番上は議会に関わるもので、本来全く別物である。よって、2 つの三角形は下から 3 つ目までに留めて、一番上の議会機能の横は、楕円形で議会空間などにするのが理想的だと思う。

事務局： 議会と行政機能に関して、機能が異なることは認識しているが、執務空間については、議会事務局などの機能が少しあることを表現している。市民利用に関しては、議会の傍聴が考えられる。また、今後、議会図書館の開放の有無を検討すると思うが、議会部分に市民が来ることは想定される。

委員： 今の発言に関連して、議会目的以外の議場の使用を検討している市がある。議会の運営方法など議会内部での議論が前提となるが、今後の設計にあたってぜひ可能性を検討していただきたい。

委員： 「12.情報通信・セキュリティ機能」について、1 階の入口にしかない防犯カメラを増やした方がよいと思うがどうか。

事務局： 防犯カメラについては、必要箇所、監視場所、方法、使い勝手、市民開放のレベル、休日開庁などを踏まえて、様々なゾーニングが考えられるので、適宜配置を検討したい。ただし、現状より多くなる可能性は高いと思う。

委員： セキュリティについて、庁舎の各部屋は入口と出口が 1 方向になる場合が多い。海外で見られるテロなどの犯罪や事故の発生時に、職員等の逃げ道や動き方が非常に制限される可能性があるため、動線を分けるだけでなく、避難路についても、一定の検討が必要と考える。

事務局： 火災時などの安全性は法律で定められており、設計者側も、安全な施設として避難路などを計画するので、担保されると思う。記載されている「不要な立ち入り」を防ぐためのカウンターの設置や、中が行き止まりにならない

工夫などは庁舎建設時によく行われているので、設計に当たっては、十分に考慮して進めていくこととなる。

委員： この図の階層は、実際の計画に即したものか。あるいは単なる叩き台か。

事務局： 階数を示しているものではなくて、下から上に窓口機能、行政機能、議会機能が続くという順番を表している。

会長： 次回は、今日の議論を踏まえて第4章以降の素案に入ることか。

事務局： そのとおりである。

会長： では、本日にある程度意見をいただきたい。他にないか。

「6.ユニバーサルデザイン」で、「スロープ、手すり、エレベーター等を設けます」とあるが、車いすなどが通れる廊下幅の確保についても記載した方がよいと思う。今の設計のルールに従うと当然のため記載していないのか。

事務局： 庁舎はバリアフリー法など法律の制限があり、車いすが通れる幅の廊下や、通行に支障のない出入口など様々な規定があるので、対応はできる。もちろん、廊下幅の確保についての文言を入れることは問題ないと思う。

会長： 新庁舎完成時に利用者が直接感じる部分だと思うのでお願いしたい。他に意見がないようであれば、基本方針3に移りたい。

事務局から、会議資料に沿って、基本方針3. 環境にやさしい庁舎について説明を行った。

会長： 質問、意見があれば発言いただきたい。

委員： 地下水を利用した空調や雨水を利用した設備など色々あるが、その可能性を伺いたい。

会長： 雨水は災害時に貯めておく用途があると思うが、事務局から何かあるか。

事務局： 水に関しては、雨水や井戸水など色々なバックアップの方法があるため、設計時に検討すると思う。「グリーン庁舎としての建設を検討」とあるが、省エネ手法は多岐に渡るため、検討した中で費用対効果が高いものを採用するという趣旨である。

会長： 雨水の場合は、貯留設備などが、スペースを取る印象がある。実際に入るかは別だが、「検討する」のような文言で入れた方がよいと思う。防災的な観点と環境の観点で他に意見はあるか。

委員： 太陽光については、庁舎全体の電気量の何%ぐらいをカバーできるか。

事務局： 今後の検討次第だが、一般的な庁舎で、普通20～30kW程度で多くても50kWであり、全体に対してごく微量である。

会長：他に意見はあるか。ないようであれば、基本方針4を説明いただきたい。

事務局から、会議資料に沿って、基本方針 4. 建設・維持管理コストを抑えたコンパクトな庁舎について説明を行った。

会 長： 質問、意見があれば発言いただきたい。

委 員： 「17.建設コストの縮減方策」に、「サッシ、ガラスや外装材などには既製品や汎用品などは積極的に」と書いてあるが、コストに大きな差がないなら、現庁舎の 1 階にある双子織の暖簾など蕨に関係あるものを使えたらよいと思う。

事務局： 基本方針 4 は、コスト抑制についてまとめる場所と認識している。基本方針 5 は、「市民が親しみやすい庁舎」として、若干蕨らしさを捻出する項目があるため、そうしたアイデアに関連する表現を入れることはできると思う。

会 長： 今の段階で具体的な機能は書きづらい印象はある。基本方針 5 の「20.市民交流機能」があるので、具体的に設計段階で検討されるという理解でよいと思う。

委 員： 桶川市庁舎の天井は、高さを抑える目的と、維持管理上の都合から採用したという話を聞いたが、相当な合意形成が必要だったと思う。蕨市では、そうした議論はどの段階で行うのか。

事務局： 特徴となる仕様については、今後設計を行う中で案を示していき、パブリック・コメントなどで意見を伺うことになると考えている。

会 長： 他に意見はあるか。ないようであれば、基本方針 5 を説明いただきたい。

事務局から、会議資料に沿って、基本方針 5. 市民が親しみやすい庁舎について説明を行った。

会 長： 質問、意見があれば発言いただきたい。

委 員： 中山道に関連して、庁舎から中山道につながる道、突き当たりは歴史民俗資料館があり、その途中に西側駐車場がある。民間の土地が多いので難しいかもしれないが、この辺りの今後の活用方法を考えていただきたい。

会 長： そうした整備も一体となって、市民が親しみやすい庁舎を目指すということだと思う。他にないか。

委 員： 「歴史・文化を活かす」と「蕨らしさの創出」という点については、本日までの審議会でも何度も出ており、より上位に置いて強調すべきだと思う。交流機能については、前回の審議会でも、「反対はしないが懸念する」という意見を表明して賛否が大きく分かれたので、20 番の項目名としては「市民交流機能」を削除して、「蕨らしさの創出」に置き換えたらよいと思う。

会 長： 交流スペースについては、他の場所で代替可能であり、予算的な問題があ

ると前々回から指摘されていた。「蕨らしさ」が前面に出たため、今の意見はよく理解できる。何か意見はあるか。

委員： 順番はどちらでもよいが、市民交流機能のほかに、蕨らしさの創出を項目として設けるのはどうか。市民交流については、「施設を整備して大規模に行う」、「高齢者の疲れた時に一息つける場所を提供する」など色々な考え方があると思う。

会長： 今の2人の意見のとおり、蕨らしさを全面に出すよう1つ項目を新たに設けるということでどうか。交流スペースの必要性については議論があると思うが、市民交流機能については、様々な観点があるため、項目を残して入れた方がよいと思う。スペースの規模等は記載できないが、全体の設計を見ながら決めていくことになるだろう。他に意見はあるか。

委員： 市民の利便性にATMコーナーや自販機のコーナーとあるが、コンビニなどもあるとよい。文言を入れるのが難しければ、代わりに言葉でもよい。

会長： 販売という機能は現在記載されている。パンやお弁当を想定していると思うが、それ以上の細かい記載は難しいのではないか。

委員： 障害施設の方が作ったものやパンやお弁当などの販売が毎日行われるとよい。また、他では買えないものを販売すれば、利用頻度が上がると思う。

委員： 市立病院に小さな売店があり、色々な物を売っている。あの程度のスペースがあれば、軽食やお菓子、日用雑貨なども置けそうである。

委員： 蕨のブランド品等も販売したらよいのではないか。

会長： 以前の審議会でも同様の意見が出ていた。他に意見はあるか。

委員： 商工会議所では、双子織をはじめとした色々な商品作りを行っているが、売上が少なくても、市役所で販売することでのPR効果はかなりあると考える。

障害施設の方が作ったものは非常に丁寧である。具材などの工夫を加えて人気が出れば、駅前の出先機関への出店などの展開ができるかもしれない。基本理念にあった「人にやさしい」に関連して、品揃えを充実させ、新たな商品企画などPR効果が生まれるものを、市役所のスペースに設けられればよい。

会長： PR効果も含め、販売自体には問題はないということでよいか。

事務局： 物産等の展示は行えると思う。記述がない機能については検討するが、パン販売等は多目的スペースの活用に含まれると考えている。

会長： 今日の意見を基に進められればよい。ところで、りんごの木を植えるとはどういうことか。

事務局： 錦町在住の方が20年かけて開発したわらびりんごの木が3本ほど敷地内にあり、収穫した実がサイダーになっている。錦町地区にはわらびりんご公

園があり、引き続き庁舎敷地に植えていきたいと考えている。

会 長： 基本方針 5 は以上でよいか。その他に、全体を通じて何か気づいた点はあるか。

委 員： 「17.建設コスト縮減方策」に「初期投資を極力抑えるように努める」とあるが、このままでは、新庁舎建設時に、コストが極端に減らされ、日常のメンテナンス費用や手間が生じる恐れがある。

省メンテナンス機器や省エネルギー設備という言葉は入っているが、初期投資を極力抑えつつも、日常の掃除やメンテナンスのしやすさや、定期的な改修の間隔を延ばす工夫について一文を入れるべきだと思う。

会 長： 今の意見を踏まえて、「17.建設コスト縮減方策」、「18.維持管理コスト縮減方策」を含めて、事務局で検討した一文を入れていただきたい。

委 員： 色々市民のことを大切に考えているのはよく分かるが、職員が気持ちよく働ける環境も重要だと思う。

会 長： 7 ページ「13. 福利・厚生機能」に、「執務室とは別に休憩をとることができるスペースを整備する」とあるので検討されると思う。

委 員： 新庁舎の規模は現庁舎より少し大きくなるという話が前回あったが、基本方針 4「建設維持管理コストを抑えたコンパクトな庁舎」の中で、市民が憩えるスペースを作ることを提案する。

また、10 ページにユニバーサルレイアウトが示されているが、本当に場所を変えただけで什器が収まるのか、将来的に文書を廊下に積み上げずにスペースを保てるのか不安が大きい。新庁舎に新たに盛り込む機能だけでなく、電子化によるペーパーレス化など削減についても進めてほしい。

会 長： 前回の審議会でも、電子化で紙文書を減らす話があった。重要な視点なので、事務局から何か話はあるか。

事 務 局： 「11.書庫・倉庫」の 2 つ目で、「日常的に使用する書類、物品等が整理整頓する収納等を適正に配置し、全ての職員が効率的に業務を行える環境を整備します」としている。指摘があったペーパーレス化、電子化について、直接的に示しているわけではないので、何か関連する機能の表現を入れたいと思う。

会 長： 1 つ目に盛り込めればよいと思うので検討いただきたい。

時間もわずかのため、基本方針は大筋で認められたものとして、指摘があった内容を追加いただきたいと思う。また、気づいた点があれば、事務局に連絡するということでよいか。

事 務 局： はい。

会 長： では、議題 3 は終了とし、次は議題 4 について、事務局から説明いただきたい。

(4) 駐車場・駐輪場の規模

事務局から、会議資料について説明を行った。

会 長： 質問又は意見はあるか。色々な数字が並んでいるので、簡単には理解できないように思える。算定条件などポイントがあれば説明いただきたい。

事 務 局： 人口に対する来庁者の数を調査した方がおり、その計算式に基づいて、蕨市の人口から割り出した市役所への来庁者数を市民の自動車保有率で換算して車で来る方の比率を出している。更に、平均滞在時間から導かれる駐車場への停車時間とピーク率を掛けると、市役所に必要な台数が計算できる。

委 員： 現状の駐車場と駐輪場は、職員と市民が共用しているため、職員用についても計算する必要があると思う。また、算定根拠とした「庁舎施設」は 22 年前の文献であるため、インターネットの普及や外国人の増加など時代環境の変化をどう盛り込むかについて考えを聞きたい。

事 務 局： 台数の算定については、確かに文献自体がかなり古いが、これ以降に、算出方法を提言した方がほとんどいない。時代に沿って変わる部分はあると思うが、この算定結果に基づいて他の市役所の駐車場整備を行ったが、現在、特に問題が起きていないため、この式を使用したことに問題はないと認識している。

事 務 局： 公用自動車の駐車場が別にあるが、来庁者に限った台数を示している。職員用について現状が分かるものを資料として示したい。

会 長： 他にあるか。特にないようであれば、議題 5「その他」について何かあるか。

(5) その他

事 務 局： 色々と貴重な意見をいただき感謝申し上げます。庁舎機能は多岐に渡るので、何か気づいた点があったら、事務局まで寄せてほしい。今後のスケジュールについては、第 5 回は 10 月 9 日 (火) 午後 3 時、第 6 回は 11 月 8 日 (木)、午後 3 時から、いずれも今日と同じ部屋で開催する。

会 長： 予定していた議事を終了したので、進行を事務局に返す。

事 務 局： 以上で本日の会議は終了とする。